

山城中央地区のまちづくりプラン

手をつなぎ笑顔で元気な山城中央

山城中央地区データ

令和5年9月末現在

地区の人口	965人	世帯数	480世帯
14歳以下	71人	一人暮らしの高齢者世帯数	57世帯
15～64歳	418人	高齢者のみ世帯数	41世帯
65歳以上	476人	高齢化率(65歳以上)	49.3%
(75歳以上)	(262人)	後期高齢化率(75歳以上)	27.2%

地域の資源(特徴)

狸まつり、消防団、老人クラブ、山城分館、幼稚園、山城小学校、山城中学校、市役所、消防署、駐在所、郵便局、金融機関、阿波川口駅、歯科医院、商店、自治会数 9 など

(特徴:山城町の中心地で人口も多く、公共機関などの社会資源も多い。狸まつり等の地域活性化イベントを住民主体で企画運営しており、実践力が強い。)

①「地域の絆を深める」

〈課題〉

- 高齢化や交流の減少等によるつながりの希薄化



課題解決に向けて

- 地域全体の交流の機会を継続
- 小地域での交流の機会(サロン活動充実)
- 学校と地域との交流

- 運動会
- 小学校との交流活動
- サロン活動
- カラオケの集い
- グラウンドゴルフ大会
- ボッチャ大会

②「援助が必要な人に支援を届ける」

〈課題〉

- 情報が届きにくい人への対応(困りごとの早期発見)



課題解決に向けて

- 集まりの場での見守り・声かけの継続
- 小地域の見守り・声かけの強化(顔見知りの関係)
- 地域ごとの情報発信の工夫

- 見守り活動
- 声かけ活動
- サロン活動
- ささえあいマップ

③「安全で安心豊かなまちづくり」

〈課題〉

- 自分で考えて行動することが難しい



課題解決に向けて

- 防災訓練の継続
- 危険箇所の確認・点検
- 避難や状況確認方法の整備(ささえあいマップ活用)

- 防災訓練
- 講習会

≪ 継続して取り組んでいく事業 ≫